

## 会山行報告書

通算山行NO	No.317B(オート・ルート合宿)	報告者	三浦光治
年月日	2005年03月11日(快晴)	二万五千円 = 巻機山	
山名	巻機山(1967m)井戸尾根		
体力度 = 4・やや大変 技術度 = 4・やや難しい 藪漕度 = ない 道標 = ない 展望度 = 360度素晴らしい展望 三角点 =			
<b>上越の団十郎・巻機山の大滑走</b>			
コースと タイム	清水集落 6:00-井戸尾根稜線 8:15-ニセ巻機山 10:23-巻機山 10:30~11:06-井戸の壁 13:08-清水集落 14:00		
標高差	清水集落 605m~巻機山 1967m = 約 1360m		
参加者	CL・後藤隆徳(59)、加藤秀子(58)、神村文男 取手山の会(53)、三浦光治(42)		

早朝 5:30 清水の集落にて合流しました。既に後藤 CL はじめ 3 名のメンバーは準備を始めていました。天気は最高との予報で、意気も上がっています。茨城から参加の神村さんとも軽く挨拶を交わし、6:00 に出発しました。3mはあろうかと思われる雪の壁を登り、登山口に向かいました。天気も上々で、ペースも上がってガンガン歩いていきます。ところが、暫く歩くと、

おや？

目標とする井戸尾根が遠ざかっていきます。そうです。とりつきを間違っていました。正規の尾根ルートがずっと左向こうに見えます。気を取り直し、正規ルートに戻るべく、谷を下り、井戸尾根に向かいました。この際、井戸の壁を南側から登ることになったのですが、これがまた急で大変でした。最後の登りは、ツボ足で登りきりました。ここを登りきると井戸の壁も終わり、大展望が広がっていました。ニセ巻機山が、ドーンと迫ってきます。ここで、小休止、地元湯沢から来たという 3 人組と出会いました。この日であった人は、5 名でしたが、この時期は、こんなもんだらうとのことでした。ピークは 4 月かなとも。

ここからは、稜線を進みます。疎林の中を登ってきます。視界を遮ることもなく、気持ちよく歩けます。疎林を抜けると、爽快なバーンが広がっていました。先行する後藤 CL が小さく見えます。後藤 CL は張りきっています。グングン歩いていってしまいます。ニセ巻機



山にとりつくと、ここが、結構な傾斜で、ツボ足で登ることに。またか。へ(´0`)へ ……

井戸尾根の時よりは、固めの雪で登りやすくはあったものの、急斜面でチョッと緊張です。ニセ巻機山までくるとようやく、目標が見えました。待望の大斜面が広がっています。ここからは、順調に高度を稼ぎ、間もなく頂上に到着しました。11:00 でした。腹ペコでした。何はともあれ、腹ごしらえ、休憩です。ところが、先行していた後藤 CL は、待ちくたびれた様で、もう行きたい行きたいオーラが漂っています。慌てて腹ごしらえを済ませ、さて、お待ちかねの大滑走です。巻機山からダイブ開始です。思う存分シュプールを描いてきました。ニセ巻機山から振り返るとクッキリとシュプールが… 来て良かった。(笑い)



ニセ巻機山へは、再度シールをつけて登り返します。この登りは、あっという間です。ここからの滑りもダイナミックなのですが、途中パッキリ口を開けている部分があったので、用心して滑り降りました。

ここから疎林の入り口までは、やや中途半端な雪質で、ターンが切りにくい雪質でした。疎林の中で、ここまで滑ってきた行程を嚙締めながら、ちょっとお茶休憩。次は

井戸の壁です。樹林が少し濃くなってきます。雪質もまた変化してきました。ざらめの緩い雪質です。傾斜も急なものだから、雪を崩し落としながら滑り落ちる感じです。ここを滑りきると終了しました。お疲れ様でした。



疲れた後は、お風呂です。清水の周辺には、民宿が何軒か構えています。そのうちの一つの「やまご」(山後??)でお風呂頂くことになりました。お風呂の準備がまだできていないということでしたので、暫く団欒です。待っている間に、お茶受けの漬物やら山菜(ゴマ油あえのココミ、ゼンマイ、カブ)やら沢山出てきました。これがなんと無料大サービス。こんなんでいいの～!

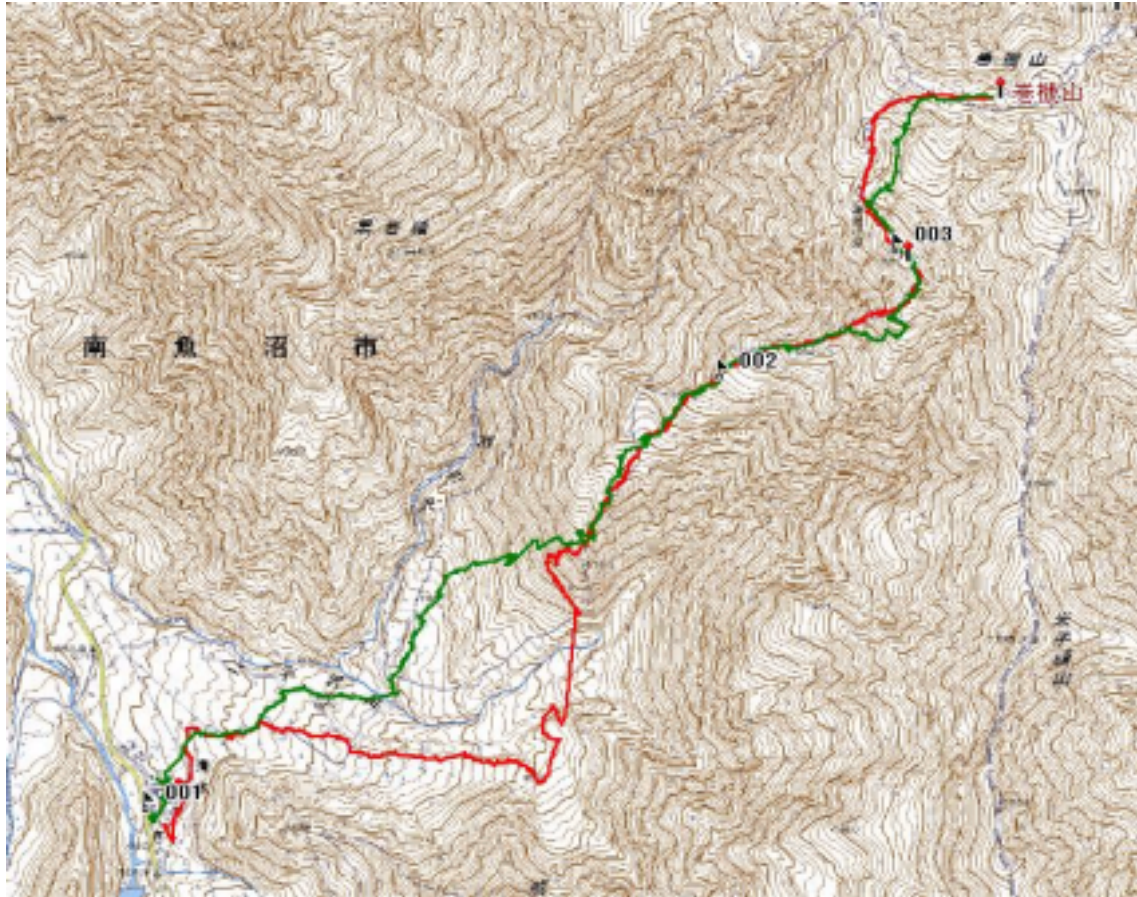
＼(0 0)/

翌日は、天気が悪いとの予報。当初、平標山を予定していましたが、急遽 浅草岳に予定変更。麓で待機し、天気もてば、登ってみようということになりました。民宿でまったりとした時を過ごし、ちょっと尻が重くなったところでしたが、魚沼市に向け出発です。途中、夕食で立ち寄った食堂が、なんと安い。新潟だから、米がうまい。いい所だ、新潟は。お気に入りです。

翌日、目が覚めると雨音がします。こりゃ駄目だ。あっさり、中止になりました。テントの中で、朝食をとりながら、次回の打ち合わせ等行い、ゆったりした時間が過ぎていきます。さて、

帰ろうという段になったとき、外は雪に変わっていました。ここで散会としました。

今回の山行は、2日目は天候悪く中止となりましたが、初日の巻機山はそうそう遭遇できない当たり日だったと思います。また、冬の新潟は初めての体験で、びっくり。見渡す限り雪々々。町の中が、雪の壁の迷路です。飯はうまいし、また訪れたい新潟山行でした。



#### 【参加者のひと言】

ごとう = 誕生月に少し遅れたが、今年も大きな標高差の山をトップで上りました。まだまだ「わきゃ〜しゅ（若い衆・伊豆弁？）」には負けん。

しかし、ここはいい山だな〜。昔ここのロープウェイを架ける話があったが、谷川岳の二の舞にならずに良かった。

「やまご」はサイコーだね。あんな民宿があるなんて信じられない。新潟バンザイ！ありがとう。

かとう = う〜ん、今回もまたまたシールが、、、。言い訳はしません。（シールものか！）  
だけど頑張って頂上100m下で皆と合流。おいしい、おいしい「頂上1枚バーン」頂きました。「やまご」は泊まりたかったね。

かみむら = お世話になりました。オート・ルートに行く皆さんとご一緒出来て良かったです。皆さん素晴らしい方でひと安心です。それにしても実質的に初めての巻機山は凄かったです。感動でした。